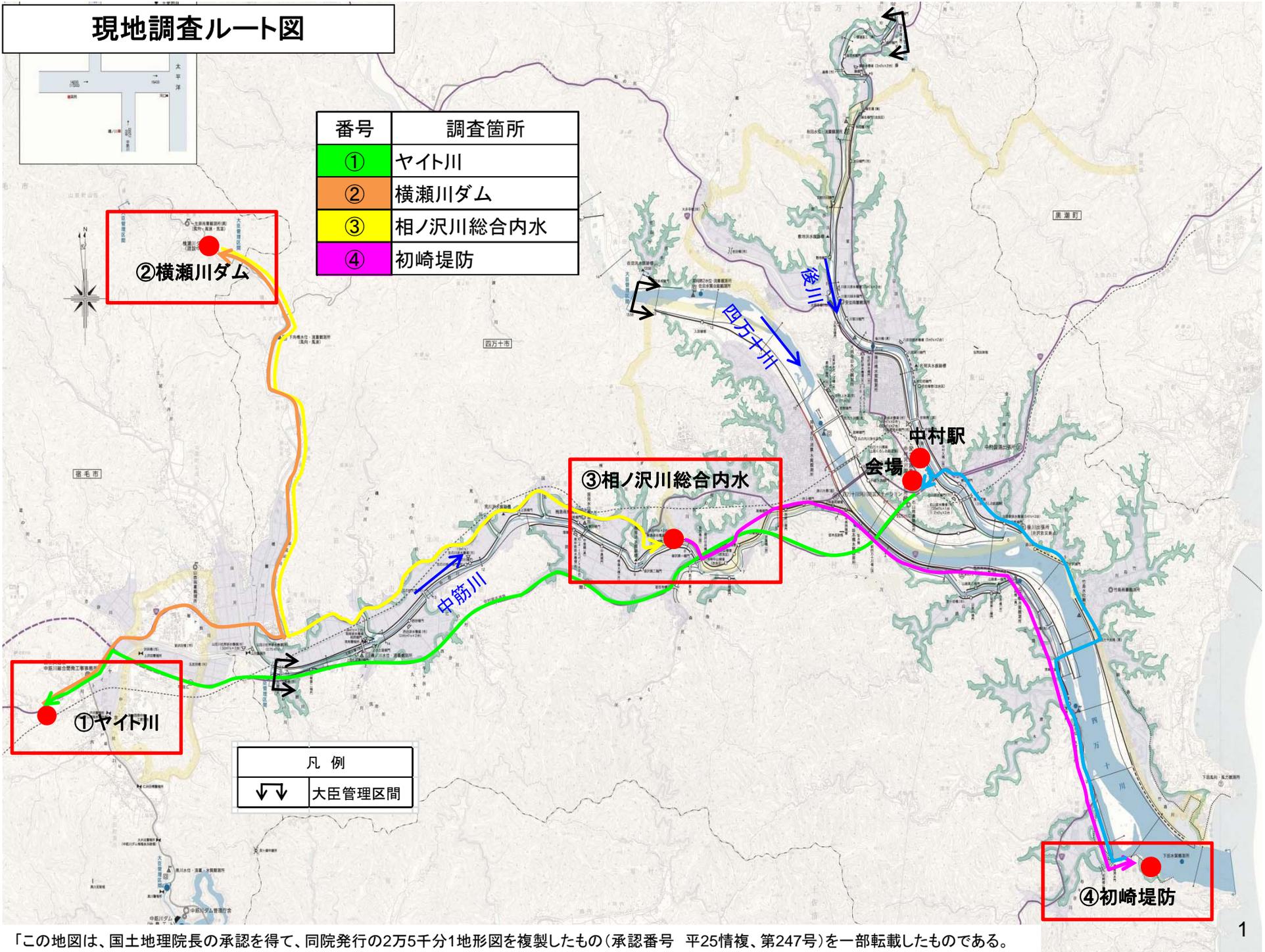


第5回 渡川流域学識者会議

現地調査資料

平成28年3月22日

現地調査ルート図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したもの(承認番号 平25情複、第247号)を一部転載したものである。

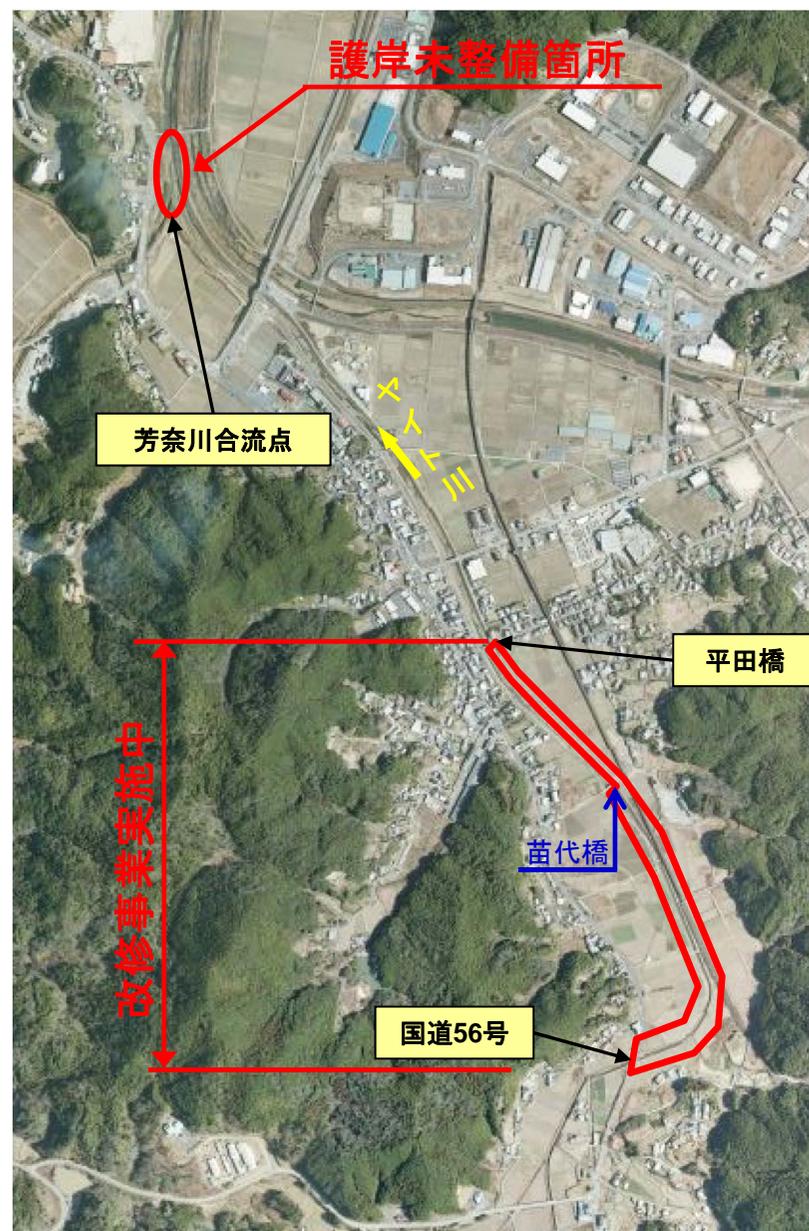
① ヤイト川

治水面上における現状と課題

- 平田橋より下流は、概ね連続した堤防が整備。
- 芳奈川合流点下流左岸は護岸未整備（断面不足）箇所あり。
- 平田橋より上流は、改修事業実施中。
- 近年では平成16年10月（台風23号）、平成17年9月（台風14号）、平成19年7月（台風4号）、平成23年7月（台風6号）による洪水などで浸水被害が発生。
- 土砂の堆積や河道内植生の繁茂により河積が不足する傾向。

河川環境における現状と課題

- 水域には、オイカワ、カワムツ等や、重要種のタモロコ等を確認。
- 陸域には、ススキ、チガヤ、ヨモギ等のほか、特定外来生物であるオオキンケイギクも点在。
- 水際や河道内ではツルヨシ群落が広がる。



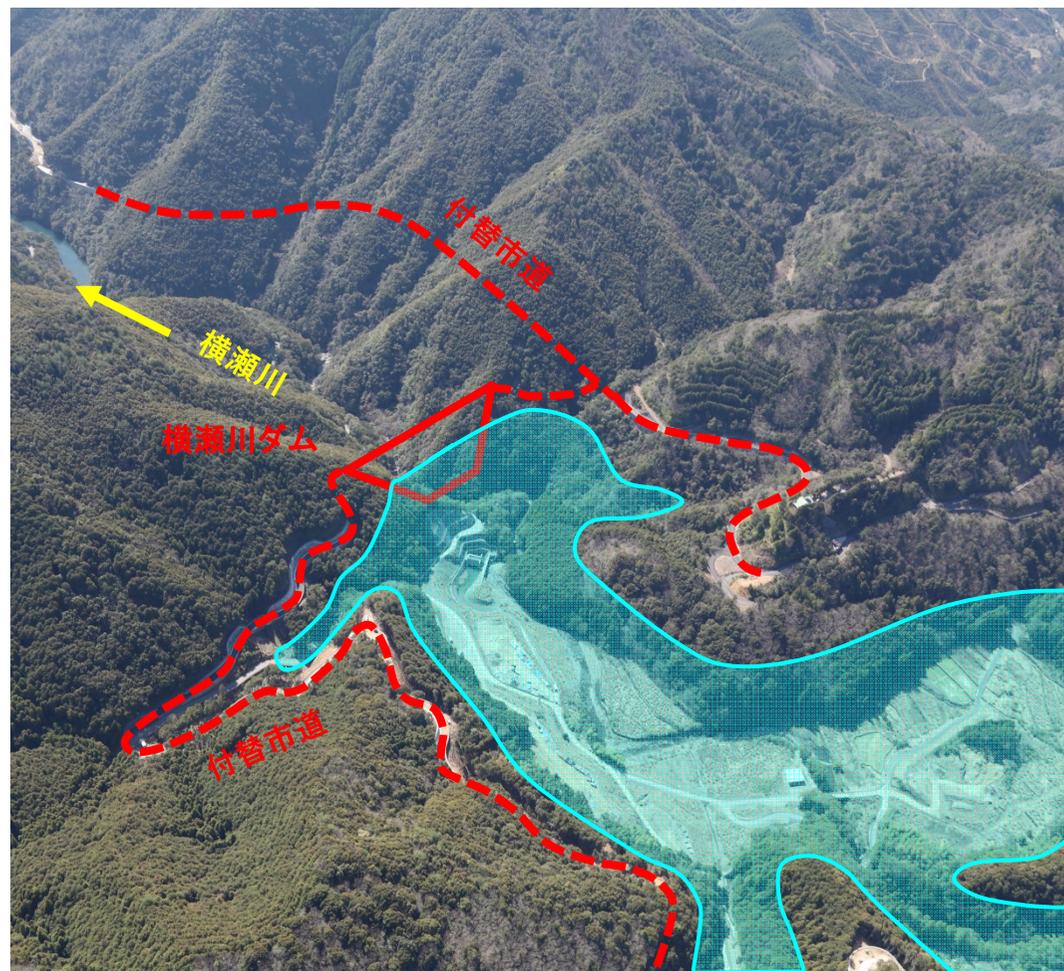
② 横瀬川ダム

治水面上における現状と課題

- 中筋川は河床勾配が緩いうえ、四万十川本川水位の影響を受けやすい。
- 昭和50年8月（台風5・6号）では、堤防の決壊等により中筋川が氾濫し、大規模な家屋浸水被害が発生。
- 平成10年度に中筋川ダム完成後も、平成16年10月（台風23号）では計画高水位を上回るなど、毎年のように家屋浸水被害や国道冠水が頻発。
- 平成2年度より横瀬川ダム建設事業に着手しており、平成31年度完成に向けて事業を推進しているところ。

河川環境における現状と課題

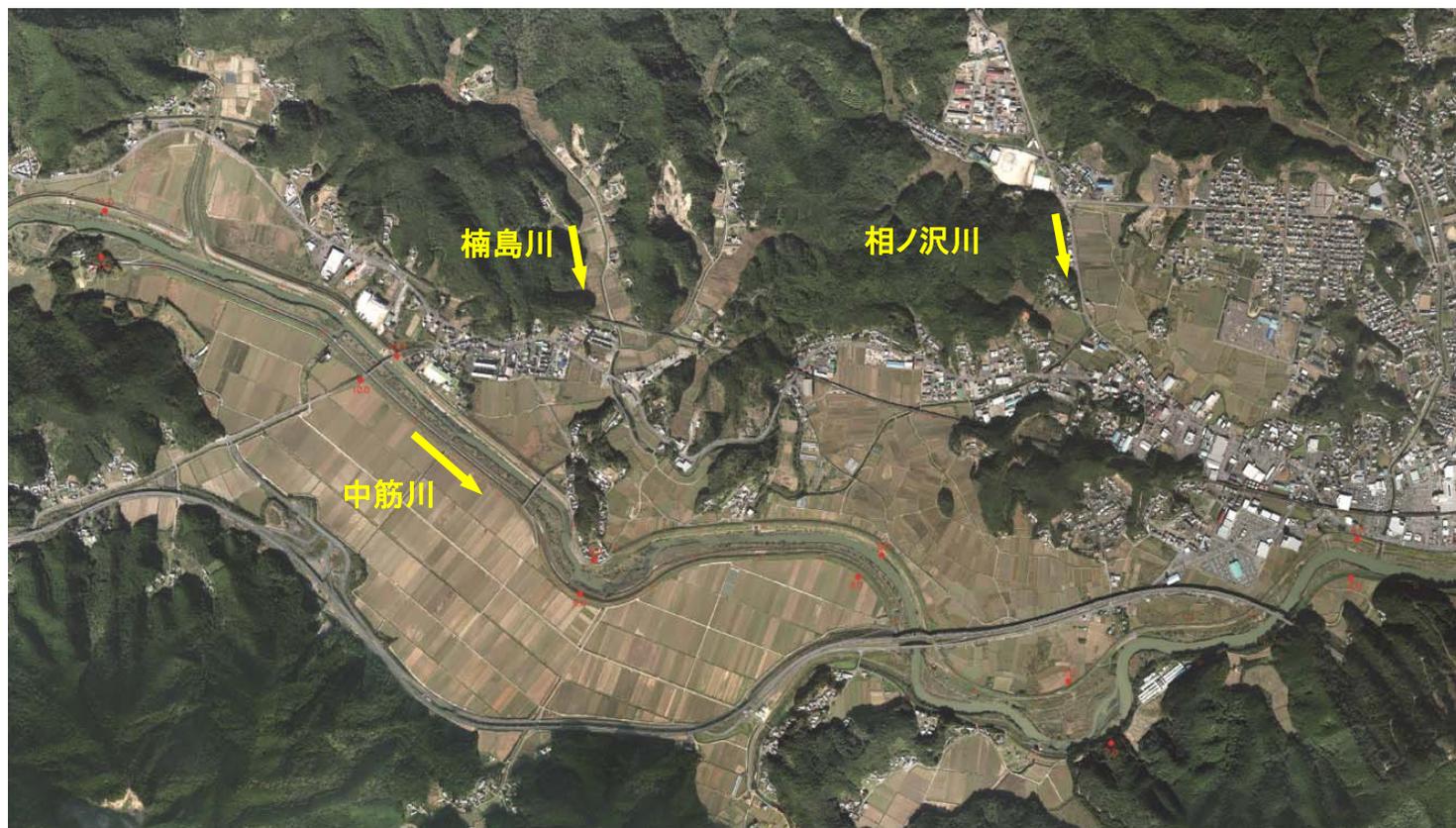
- ダム建設予定地の直下には轟の滝があり、シイ・カシ天然生林が分布。
- 湛水予定地周辺には、オオタカやイモリ、スジヒトツバ、ミズネコノウ等の貴重種が生息・生育。
- 生息状況や移植後のモニタリング調査を実施。
- 水田生重要種が生育している湿地環境が消失することから、残土処理場を活用した湿地環境の整備を計画しているところ。



③ 相ノ沢川総合内水

治水面上における現状と課題

- 平成26年6月の梅雨前線により、具同・楠島地区では、相ノ沢川及び楠島川沿川で深刻な家屋浸水被害が発生。
- 浸水被害の分析や今後の対策について検討するため、平成27年6月に国土交通省・高知県・四万十市による「相ノ沢川総合内水対策協議会」を設置。
- 総合内水対策計画の策定に向け、検討実施中。



④ 初崎堤防

治水面上における現状と課題

- 初崎地区は、四万十川左岸0k/400から1k/000（約600m）に位置する無堤部。
- 近年では平成17年9月（台風14号）にて、高潮により浸水被害が発生。
- 今後30年に70%程度の確率で発生すると予想される南海トラフ地震による津波遡上範囲に位置しており、津波被害軽減対策としても早期の整備が必要。

河川環境における現状と課題

- 水域には、貴重種であるアカメが生息。
- 背後地には、四万十市の文化財指定されているタブノキ群落があり、地元住民や学識者から周辺の樹林帯として保全すべきと強く要望。

